

# 友愛

Y U A I

111

平成28年5月1日発行

特集 魅力ある職場環境づくりが進んでいます

特集 「放課後児童クラブ ふわっと」が  
ケアハウスゆうあい内にオープン

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

笑顔が輝く時間、空間、活動の場を提供

# 魅力ある職場環境づくりが進んでいます

北海道友愛福祉会では、働きがいのある職場づくりのために、サークル活動の応援や休憩室の改築などを行っています。人事制度を含めた多様な取り組みを紹介します。



## 若手スタッフ中心で魅力ある職場環境へ

自分たちが働きやすい環境を、自分たちで創り上げていく。そうした趣旨のもと、「魅力ある職場環境づくり会議」が設置されたのは、平成22年のこと。北海道友愛福祉会の各事業所から、毎年若手を中心に10人ほどのメンバーが集まり、多様な取り組みを行っています。

各職場でのアンケートや意見をもとに取り組んだのが、「主任制から課制へ」の組織改革。働きがいのある職場環境を実現するため、課長・係長を新設し、キャリアパスによる資格取得や人事考課などの昇格基準を可視化しました。「スタッフのモチベーションアップは勿論、現場の声が組織で共有できる環境へと向上したことも大きな変化でした」と、生活支援課長の前田 顕さん。

スタッフの声は手当の新設や増額など「諸規程の改正」にも反映。新設された「役割手当」には、プロジェクトチームや新人指導担当（チューター）を配置し、生き生きと働ける職場風土が定着しています。



静苑ホーム生活支援課長 前田 顕さん



## スタッフの休憩環境向上で福利厚生もアップ

静苑ホームでは「休むことも大切な仕事」をコンセプトに、休憩環境の質的向上に取り組んでいます。コーヒーや紅茶、ジュースなどが無料で飲めるドリンクサーバーや、スマートフォンなどでインターネットが自由に楽しめるスタッフ専用のWiFiスポットを一年前から設置。この4月には、休憩室の全面改修を行いました。

スタッフ同士がコミュニケーションをとりやすいよう、店舗を手掛ける

空間デザイナーに依頼し、12人掛けの大きなテーブルや、本格的なキッチンを新設。リニールオープンでは、スタッフとその家族78名が集まり立食パーティーイベントを行いました。「スタッフが楽しくくつろぎ、疲れを癒す場所になることは勿論、コミュニケーションツールとしての休憩室の活用も視野に、環境向上に取り組みを行います」と、在宅係長の成田 孝友さんは説明します。



静苑ホーム在宅係長 成田 孝友さん

## ゆうあいブラスバンドの活躍に、ご利用者も感動

「音楽が好きが集まって、演奏したのが始まりです」と、ゆうあいブラスバンド（YBB）のリーダー 武田知世さん。これまでに7回静苑ホームで演奏会を開き、「童謡など全部で100曲くらい演奏しました」と、本間詩織さん。ご利用者の方からは「感動しました」という手紙も届きました。



左から菅原さん、武田さん、本間さん

「人生初めてのトランペットに挑戦中です」と話すのは、菅原夕紀さん。現在メンバーは7人で、仕事のあと練習用に提供されている部屋で演奏しています。「バンド練習があるから、仕事も頑張ろうという気持ちになります」と武田さん。すべてを楽しみむ若々しい姿は、春風のようにさわやかでした。

## 地域に開放するなど、交流の場としても活用予定

このようにスタッフの働きやすさとして、コミュニケーションを追求した休憩室ですが、今後は地域への開放も積極的に進めていく考えです。例えば男性料理教室やランチの開催、夜はバーとして集まっていたりなど、利用を広げ、地域住民とスタッフの交流や、ケアカフェなどのイベントも企画していきたいと思っています。

さて、改修等ハード面の強化だけでなく、ソフト面の充実も進んでいます。その一つが、今年度から始まった「バースデー休暇」。有給休暇が取得しにくいスタッフも、これなら堂々とお休みがとれるのではないのでしょうか。家族と過ごす時間は大切です。

また、スタッフの子どもにはクリスマスプレゼントも実施。クリスマスブーツに入ったお菓子の詰め合わせですが、子ども達から写真やお手紙でのお礼が届くこともあります。

おかげさまで、静苑ホームの介護職の離職率は2.7%（過去3年間）と平均値を大きく下回りました。働く人は勿論、その家族にとっても魅力ある職場づくりを今後も進めていきます。

## パートスタッフの誕生日にプレゼントでお祝い

「今年は何をいっていたのか、楽しみです」そう笑顔で話すのは、昨年に続いて誕生日プレゼントを受け取ったパートスタッフの三浦一美さん。ヘルパーとして、今年で勤続4年目になります。「去年は和菓子と洋菓子をそれぞれ1種類選べるカタログギフトでした。自分と家族の好みに合わせて選びました」。



パートスタッフ 三浦 一美さん

三浦さんは介護の仕事は初めてでしたが、友人に誘われて勤め始めました。ヘルパー同士の仲がよく、連携が取れており、また職場の歓送迎会や忘年会など「飲める職場」であることも勤続の理由になっています。北海道友愛福祉会はこれからも人間関係の良さを生み出す職場づくりをしていきます。



YBBメンバー ※左から	
ベース	高山 晴香さん
ホルン	高嶋 菜美貴さん
サクソ	本間 詩織さん
トランペット	菅原 夕紀さん
トランペット	猪股 亜耶さん
サクソ	武田 知世さん
ピアノ	山影 柚衣さん

## 学習療法に取り組んでいます!

デイサービスでは、3~4名のご利用者と簡単な読み書きや計算問題、手作りの文字盤を使って文字を組み合わせてたりするなど、工夫しながら学習を行っています。コミュニケーションを通して、楽しい雰囲気の中で会話も弾み、皆さん笑顔で取り組んでいます。



デイサービスセンター  
友愛江別

友愛  
ナーシングホーム

## ボランティアの皆様をお迎えして



3月16日(水)に平成27年度、友愛ナーシングホームでボランティアとして活動していただいた皆様に、感謝をこめて「茶話会」を開催いたしました。毎年、年度が変わるこの時期に開催しているもので、活動している中での不都合な点やご希望をお聞きし、あわせて次年度の活動の情報交換もこの場で行っております。一時間程度の時間でしたが、とても和やかで楽しい茶話会となりました。今回は特に、参加いただいた皆様一人ひとりにご感想やご意見を発表していただきました。大変貴重なご意見をたくさん頂戴しましたので、これからの運営に生かしていきたいと思っております。

# ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの  
日々のふれあいを、あふれる笑顔の  
写真と一緒にご紹介します。

野幌第一地域  
包括支援センター

愛保育園

## 3月3日はひなまつり♡

0,1,2歳児クラスは、お雛様の手作り衣装を着て『ひなまつりのうた』を歌いました。そして、紐にぶら下がっているお花のカードをGetしてゴールを目指すゲームで盛り上がりました。そのときのお花のカードにはリボンをつけて、メダルのように首から下げて持ち帰れるようにすると誇らしげな顔をしていましたよ◎

3,4,5歳児クラスは、サンドイッチ作り。食パンをお花やハートの型で抜いてジャムを塗って完成。その後、ひなまつらしく男の子と女の子がペアになって手をつないだり、腕を組んだりして歩き、各クラス一番仲良く見えたペアにベストカップル賞が贈られました。ベストカップルは作ったサンドイッチを食べさせあい喜んでいました♪



ケアハウス  
ゆうあい

## 新しい車が仲間入り♪



この度、日本財団に助成していただきケアハウスに新しい車が届きました!!扉は自動開閉、ステップや手すりが付いているため乗り降りしやすく、出掛けるのが楽しみになる車です。今まで使用していた車は、開設当時から20年も働いてくれています。今までありがとうございます!これからもよろしく!「さあ、どこにいきましょうか!?!」と話が弾んでいます。

静苑ホーム

## 『チェアエクササイズ』が好評です。

地域の方々に会議室や1階のホールを開放しており、昨年の9月からは毎週木曜日に、『チェアエクササイズ』と称した運動のサークル活動が会議室で行われています。インストラクターの指導の下、椅子に座りながらゆっくりと全身を動かすこと約90分。心地の良い汗をかくことができ、身体がスッキリしたことを実感できると好評です。参加者の中には、認知症の予防や若返りの効果を期待している方もいて、真剣に取り組んでいる様子が伺えます。



## 第13回ONEびーすの会開催!



平成28年1月、江別市総合社会福祉センターにおいて、北翔大学の寺田先生をお招きし、第13回ONEびーすの会(江別市ケアマネジャー研修会)を開催しました。当センターの佐々木所長が事例を提供し、小林副主任が司会進行をして、事例検討を実施しました。グループワークでは寺田先生の講義を参考にしながら白熱した意見交換が繰り広げられました。ONEびーすの会は毎月第3金曜日に開催しております。ケアマネジャー以外の職種でも参加できます!皆さんの参加をお待ちしています!

プライバシーを重視した空間を実現し、ご入居者に好評です

## 静苑ホームの 多床室を個室化 しました



静苑ホームには15室の4人部屋(多床室)がありましたが、厚生労働省の地域医療介護総合確保基金から助成金をいただき、全室をリフォーム。4月1日にすべての多床室が生まれ変わりました。ドアを開けると、内部は4つの『部屋』に区切られています。といっても、完全に壁で分割されているのではなく、天井部分には密閉されていない空間があり、またそれぞれの入口はカーテンです。

「壁の一部には光を透過する素材を使い、プライバシーを確保しつつ、ある程度の開放感も感じられます」と、生活支援課長の前田顕さん。また室内のトイレ、洗面台もリニューアル。照明センサーの採用など、随所に工夫を凝らしています。

「私の部屋ができてうれしい」と言うご入居者や、訪ねてきたご家族も周囲に気兼ねなく話ができるなど、たいへん好評です。個室や二人部屋から移りたいという声もあり、静苑ホームでは今後も安らぎのある空間づくりを進めていく予定です。



## ご利用者が小学生の子ども達と 触れ合う時間もできました

# “放課後児童クラブ ふわっと”が ケアハウス ゆうあい内に オープン!

「放課後児童クラブ ふわっと」は、たすけあいワーカーズふわっとが運営する学童保育の施設。北海道友愛福祉会は無償でスペースを提供し、地域の子育てを支援しています。

### 自分の孫、ひ孫と一緒に いる思いで元気に



友愛ナーシングホーム  
総務課長  
小松 由明さん

「それ、ぼくにもちようだい」「こっちで遊ぼうよ」と、ケアハウスゆうあいの機能訓練室に隣り合ったスペースから、元気な子ども達の声が聞こえてきます。今年4月1日に移転オープンした「放課後児童クラブ ふわっと」に通う小学生たちです。その声を聞いて、機能訓練室のご利用者もうれしそうに顔をほころばせています。ところで、なぜここに学童保育の施設ができたのでしょうか。

「職員の中に『自分の子どもが通うための学童保育所がほしい』という声が上がったこと、地域の子育てを支援するという方針があったことなどが大きな理由です。ちょうど移転先を探していた『ふわっと』さんと意向が一致し、実現しました」と、友愛ナーシングホームの小松由明総務課長は説明します。『ふわっと』に電気代などの経費は負担していただきますが、家賃は無料にしています。「春休みの期間中は、朝から来所した子ども達にご利用者と一緒に体操と歌を楽しみました。ご利用者の皆さんも、自分の孫やひ孫と一緒にいるような気持ちになるのでしょう、

配慮もしたそうですが、今では子ども達もご入居者や職員の方と自然に触れあっています。

また、「家賃を無償にしていたこととても感謝しています。そして、ここは暖かい上にバリアフリーの施設なので、障がいのある車いすの子にも、そうではない子にもやさしいですね」と、とても満足しています。以前はアパートの一室を使っていただけ、スペースも限られていましたが、



『ふわっと』代表  
高橋 祐子さん

### 子ども達も高齢者もともに 育ちあう場に

はつらつとしていました。そう話すのは、ケアハウスゆうあいの生活相談員柴田一子さん。ふだんは自室からあまり出てこないご入居者も、子ども達を見に来ます。「かわいね」「気持ちいいね」と話しかける方もおり、子ども達との交流によって感情が生き生きとしてきました。ご入居者にとっても、メリットは大きいようです。「まだ手探りの状態ですが、季節の行事や避難訓練などを一緒に取り組みたいですね」と、柴田さん。小松さんは「ご入居者が子ども達に書道を教える、子ども達を迎えに行くサービスをするなど考えています」と、今後の展望を描いています。



ケアハウスゆうあい  
生活相談員  
柴田 一子さん

「最初は子ども達も少し落ち着かなかったのですが、今はすっかりなじんでいます」と、たすけあいワーカーズふわっとの代表高橋祐子さんは、そう話します。当初、ご入居者の迷惑にならないよう、大きな音の出るおもちゃをやめる、大声で騒がないなどの

現在は97平方メートルと2倍近い広さになりました。現在、小学1・2年生を中心に35人の登録がある『ふわっと』。おやつをほぼ手作りするなど、保育の質の高さには自信を持っています。「子ども達にけん玉やお手玉を教えてください。障がいのある子も、ない子も、そして高齢者も、ともに育ちあう場にしたいですね」という高橋さんの言葉が『ふわっと』を象徴していました。



# スタッフ エッセイ

山登りは日々の喧騒から開放され、自然に触れ合える場所です。鳥のさえずりを聴きながら歩み、運が良ければ可愛いリスにも出会い、雲海を眺めると足取りも軽やかに疲れも忘れます。頂上に立ち下を見ると、日ごろのモヤモヤ感も吹き飛び、最高の笑顔が生まれます。「明日から頑張るぞー!」と意欲が湧きあがり、気持ちがりセットされます。皆さんも山登りを始めませんか?楽しいですよ!



デイサービスセンター友愛江別 白幡 友子

幼い頃から物づくりが好きで、学校の授業の図画工作や家庭科が楽しみな子どもでした。今では、子ども達が遊べるおもちゃを作るのが楽しみの一つになっています。作るのに時間がかかってしまうこともありますが、作ったおもちゃで子ども達が遊んでくれる姿を見たら、大変だったことも全部ふっとびます!!今後も子ども達の遊びが豊かになるようなおもちゃを作りたいと思います。



愛保育園 久保のみ

私の趣味は食べ歩き。食べる事が大好きで、食べている時が一番幸せな瞬間です。羅臼のホッケが美味しいと聞けば羅臼へ行き、土別のジンギスカンが美味しいと聞けば土別へ行き...食べ歩きが高じて旅行も趣味になっています。仕事をたくさん食べて旅行して最高!!と思っているのですが、ある問題が。体重の増加が著しく、このままでは玉になってしまう...。美味しいものを食べつつも、健康維持にも努めたい。そんな欲張りな私は今日もお腹を空かせています。



ケアハウスゆうあい 柴田 一子

消防団に入団して2年が経過します。火災予防運動、消防車を使用しての機関訓練、広報活動をはじめ、研修会にも参加させていただいています。今後も地域のために微力でも貢献できればと思います。新規入団員募集中です。女性分団員も募集していますので、興味のある方は江別市消防本部庶務課までお願いします。



恵明園 岩本 貴敏

歌謡ショーの司会や歌、ドラムの演奏等の仕事をしていた時に三味線と出会いました。稽古を重ね師範となり、今は江別市民文化祭での演奏や老人ホーム、地域のお祭り等を活動の舞台としています。一番の思い出は、細川たかしさんのディナーショーでの伴奏や細川さんの出生地である真狩村で開催されたライブで演奏したことです。また一昨年には、江別市民会館で開催された「BS日本のうた」で、細川たかしさんと長山洋子さんの歌の伴奏をすることもできました。日本の伝統芸能である三味線を、幅広く伝えていきたいと思っていますので、興味のある方はお気軽にお声かけください。



静苑ホーム 長岡 達子

私は、2年前から民間共済会(ソウエルクラブ)の札幌・石狩地区の実行委員をしています。皆様も共済会から届くチラシをご覧になる事があると思いますが、ホテルでの食事会やパークゴルフ・ボーリング・バスレクなど、リーズナブルな料金で楽しめる企画が盛り沢山です。行事の企画からホテルや旅行会社との交渉まで、12名の実行委員ですべてを行うという大変な仕事ですが、行事に実際に参加してみると、思ったより楽しめる企画が沢山あります。今年の私の企画は、「ディスコ」。あの全盛期を思いだし、と一緒にカッコ良く汗を流して見ませんか?ご案内がありましたら皆様も是非ご参加ください。



友愛ナーシングホーム 今野 典子

## 社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護  
**静苑ホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10  
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

**友愛野幌**

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

●通所介護 ●訪問介護  
●居宅介護支援・在宅介護支援センター

児童福祉施設  
**愛保育園**

〒069-0812 江別市幸町8番地の9  
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護  
ヘルパーステーション  
**恵明園**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

**友愛江別**

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598

●通所介護  
●居宅介護支援・在宅介護支援センター

認知症対応型共同生活介護  
**グループホームゆうあい**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356

軽費老人ホーム

**ケアハウスゆうあい**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護  
通所リハビリテーション・居宅介護支援  
**友愛ナーシングホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業

**野幌第一地域包括支援センター**

〒069-0801 江別市中央町31番地の6  
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941

●介護予防支援